谷川　一ノ倉南稜山行報告

【日程】2018 年 6 月 19 日(火)　前夜発
【メンバー】CL 富樫　山本（記録）
【行程】6 月 18 日(月)　21:00 千葉駅→12:00 谷川ﾛｰﾌﾟｳｪｲ駐車場着→25 時仮眠
6 月 19 日(火)　4:00 起床→4:45 駐車場発→5:30 一ノ倉沢出合着(朝食・登攀準備)
→6:00 出発→6:40 ﾃｰﾙﾘｯｼﾞ取付→7:50 南稜ﾃﾗｽ着→8:30 登攀開始
→13:00 一ノ倉岳山頂→14:10 谷川岳ｵｷの耳→14:30 ﾄﾏの耳
→16:10 ﾛｰﾌﾟｳｪｲ山頂駅→16:30 駐車場着→ﾎﾃﾙ湯の陣(入浴)→帰葉

ちば山に入会する前から、いつか一ノ倉へ行きたい・・・と思っていたが、今回富樫さんにお誘いいただき、ついに実現することができた。
前夜は小雨がぱらつき天気や岩の状態が心配だったが、天気は好転し快晴！
清々しい新緑の林道を抜けて現れた迫力のある一ノ倉沢を目の前にして、感動した。

一ノ倉出合で簡単に朝食を済ませ、登攀開始。雪渓状態は例年よりも悪く、高巻く箇所もあったが、ヒョングリの滝での懸垂は不要だった。
慣れないアプローチシューズでのテールリッジはなんだか滑りそうでこわかったが、傾斜の強い箇所にはフィックスロープがついているので安心。

中央稜の１ピッチ目にとりついている２人組を横目に南稜テラスへ向かうと、南陵テラスには先行の別の２人組がすでに到着していた。話を聞くと、南稜は何十年ぶりかだという。ゆっくり行くからと、先を譲っていただき、登攀スタート。

●１P…富樫さんリード。ロープが屈曲するのでチムニー前でピッチを切る。
●２P チムニー…山本リード。始めの手がかりでそわそわするが、しっかりしたホールドが豊富にあり、気持ちよく登れた。抜けるような青空！！

●３P…山本そのまま草付きの歩き。
●４P…富樫さんリード。上方に見えるハングを左に巻く。濡れた岩がすべって気持ち悪かったような気がする。
●５P…山本リード。スパッと切れた高度感のある馬の背のピッチ。今まで登ってきた雪渓～テールリッジが見渡せて爽快！
●６P…富樫さんリード。核心ピッチ。垂壁のフェースで、最後の数手が緊張する。
●７P…岩あり草付き。歩き。

終了点に 10 時半着。さて、同ルート下降するか、上まで抜けるか・・・
一般登山道でも谷川に来たことがなかったので、富樫さんにお願いして一緒に抜けてもらうことにした。
結果、想像以上の藪漕ぎと虫の多さと暑さで苦労するが、こんな形で山頂を目指せるなんてわくわくする。無事に一ノ倉岳山頂まで詰め上げることができて嬉しくて、富樫さんと笑顔で握手を交わし、記念撮影をした。

一ノ倉～谷川岳方面への稜線歩きがまた最高で、疲れていても足取りが軽い。しかし当初予定の西黒尾根ではなく、迷わず天神尾根でロープウェイ山頂駅をめざした。
とにかく天気が良すぎて暑くて、水がいくらあっても足りないという感じ。
ロープウェイに着くなりコーラをがぶ飲みした。無事に戻ってこれた安心感と満足感でたまらなくおいしかった～！
ホテル湯の陣（ロープウェイ乗車券提示で 980 円→590 円に！）にて汗を流し、帰葉した。

富樫さん、ハードコースにお付き合いくださり、長距離運転までありがとうございました。
天気にも恵まれ、最高の思い出になりました！